

「緑内障」の通称名は「グラ」なのヨ②

今月のフジタガンカニュースは前回に引き続き緑内障関連、日本眼科学会のホームページ上の解説の引用の続きです。

■眼圧の正常値

最近の大規模な調査（多治見スタディ）によると、日本人の平均眼圧は 14.5 mmHg であり、ばらつき（標準偏差が 2.5 mmHg）を考えると、正常の眼圧は 10～20 mmHg であるということが分かりました。眼圧は、1 日の間でも時刻により変動するうえに、どの時期に眼圧が高くなるのかというパターンには、個人差が大きいです。また四季に恵まれた日本において、眼圧は、冬季に高く、夏季には低くなりやすいことも知られています。日常生活において眼圧に影響する因子としては、年齢、性別、屈折（近視や遠視の程度）、人種、体位、運動、血圧なども知られています。このように多くの因子が複雑に影響しあって、眼圧が決まっています。前述したように、「眼圧の正常値」は健康人を対象とした調査に基づいて統計的に求められた値（全体の 95.5%がおさまる平均値±標準偏差の 2 倍）であって、この範囲にあるからといって緑内障にならないとは言いきれません。実際に、日本人では、眼圧が正常範囲であるにもかかわらず、緑内障になっている「正常眼圧緑内障」の患者さんが過半数を占めていることが判明しました。

■房水と眼圧

それでは緑内障という病気とはどんな病気でしょうか？ 緑内障は、日本緑内障学会のガイドライン（第二版）によると「視神経と視野に特徴的な変化を有し、通常、眼圧を十分に下降させることにより視神経障害を改善もしくは抑制しうる眼の機能的構造的異常を特徴とする疾患である」と定義されています。つまり緑内障は、視神経の形（乳頭形状）と機能（視野）の特徴的な変化から診断されます。緑内障は、古くから、眼圧が上昇することで視神経が障害される病気として理解されてきましたし、実際に眼圧を下降させることが治療として有効なことも知られています。しかし近年の研究では、正常眼圧緑内障が多い日本人においては、必ずしも、眼圧上昇だけが原因であるとはいえないことが分かっています。しかしガイドラインにも記載してあるように、（正常眼圧緑内障を含めて）すべての緑内障において、眼圧を下降させることで、緑内障になるリスクが下がることが知られていますし、緑内障になった患者さんでも、その視野が悪くなる（緑内障が進行する）可能性を低くすることができます。したがって、緑内障の患者さんにとっては、自分の眼圧値を知っておくこととともに、眼圧値を安全な範囲にコントロールしていくことが重要です。

■緑内障の症状

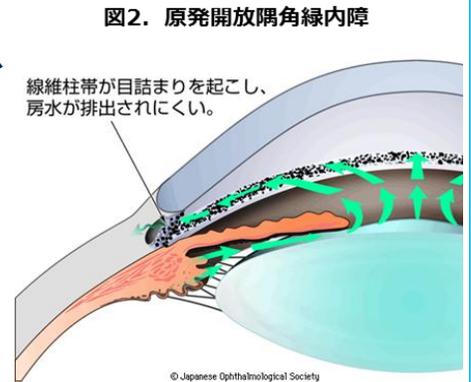
緑内障の自覚症状としては、見えない場所（暗点）が出現する、あるいは見える範囲（視野）が狭くなる症状が最も一般的です。しかし、日常生活では、両眼で見えていますし、多くの場合、病気の進行は緩やかなので、初期は視野障害があってもまったく自覚しないことがほとんどです。実際、緑内障の患者さんが自覚症状で気づくのは、かなり進行してしまっ視野や視力が悪化してからということも多いです。視野障害が進行した場合は、視力が低下したり、場合によっては失明することさえあります。しかも緑内障が恐ろしいことの一つは、緑内障の進行は常に一方通行であり、喪失した視野や視力を治療によって取り戻すことができません。緑内障の治療は、あくまでも緑内障の進行をゆっくりにする

るためのものであり、見え方を改善することはできません。また、急激に眼圧が著しく上昇した場合（急性緑内障発作）は、眼痛・充血・目のかすみの他、頭痛や吐き気を自覚することもあります。こういう場合は、大変苦しいですし、急速に視野が悪化していきますので、すぐに治療を受ける必要があります。逆に、ゆっくりと眼圧が上昇していく場合や、正常眼圧でも緑内障になるタイプでは、自覚症状がないために、気がついたら視野が悪くなっていたということになりがちです。

■緑内障の分類

(1) 原発開放隅角緑内障（図 2）

線維柱帯（とその奥にあるシュレム管）と呼ばれる場所が目詰まりを起こし、うまく房水が流出されないために眼圧が上昇すると考えられています。原発とは、「誘因となる他の病気がないにもかかわらず」という意味を表します。隅角とは、線維柱帯を含めての房水の流出路の場所で、角膜と虹彩の間を指す専門用語です。つまり、この病名は、「他の病気のためではなく（原発）」、「隅角が見かけ上開放されているのに（開放隅角）」、視神経が障害される緑内障であることを意味しています。このうち、眼圧がいわゆる正常範囲にありながら視神経が障害されるタイプの緑内障を正常眼圧緑内障といいます。正常眼圧緑内障では、視神経の血液循環が悪かったり、遺伝や免疫、酸化ストレスなどのいろいろな原因のために、通常では緑内障を起こさない程度の眼圧でも視神経が障害されるのではないかと考えられています。また、正常眼圧緑内障の患者さんには高齢者が多くて、近視の頻度も高いことから、加齢や近視もリスク要因であると考えられています。



年末・年始休診スケジュール

	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5
AM	○	×	×	×	×	×	×	○	○
PM	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※×・・・休診 ○・・・通常診療

現在引用している緑内障の解説は「日本眼科学会」のHPからの引用です。先月号で「日本眼科医会」と表記したのは誤りです。大変申し訳ありませんでした。



<http://www.fujita-ganka.com>

今月のお知らせ

11月まで、オグラメガネさんの出張日は①火曜日午後②金曜日午後の2コマでしたが、予約希望が多いため12月より③土曜日午前の出張が追加となりました。宜しくお願いします<(_ _)>。



FUJITA-EYE-CLINIC

藤田眼科

エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)

F-Vision

① **042 (645) 0575**

① **042 (642) 2911**